

事業番号	11 06 03	事業改善シート（28年度実施事業分）		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	通常砂防費			担当課	部局	建設部	
					課・局・室	砂防課	
					E-mail	sabo@pref.nagano.lg.jp	
総合5か年計画	プロジェクト			実施期間	M31 ~		
	施策の総合的展開	4-1 地域防災力の向上 4 災害に強い地域づくり					
人口定着・確かな暮らし実現総合戦略	信州創生の基本方針	5-1 賑わいある快適な健康長寿のまち・むらづくり					
	施策展開	4-(1) 確かな暮らしを支える地域構造の構築 (イ) 既存資産のマネジメント強化					

## 1 事業の概要

目指す姿	○砂防法第2条により指定された砂防指定地における砂防工事で国庫補助対象となる箇所について砂防設備の整備を行い土石流による災害から住民の生命・財産を保全する。 ○土砂災害時に人的被害の割合が高い要配慮者利用施設のうち、レッドゾーン（土砂災害特別警戒区域）内に立地する55施設について平成29年度までに対策に着手する。		
現状（予算編成時）	○土石流による土砂災害の恐れがある箇所の整備率は平成26年度末において21.3%であり、急峻な地形と脆弱な地質を有する本県には、対策必要箇所が多数存在する。 ○重点的に対策を進めているレッドゾーン内の要配慮者利用施設55施設について、平成27年度末までの対策着手施設数は51施設となる見込である。		

県が関与する理由	県でなければ実施不可（法令等義務）	【左記の説明、根拠法令等】 砂防法第5条および第13条
	県民との協働による実施：実施は困難	

成果目標・事業内容	① 成果目標（H28）				
	○レッドゾーン内の要配慮者利用施設対策着手数 53施設 ○9月補正（経済対策）により対策必要箇所の進捗を図る。				
	② 事業内容 <span style="float:right">(単位:千円)</span>				
	項目	実施方法	H28事業実績	H28 (当初)	H28 (決算)
通常砂防事業	直接	万郡沢他97箇所において、砂防堰堤工、溪流保全工等の設置及び測量、調査、設計、用地補償等を実施した。	4,515,200	5,111,811	5,678,400
		合計	4,515,200	5,111,811	5,678,400

事業コスト	区分(単位:千円)	27年度	28年度	29年度	成果目標の達成状況						
	前年度繰越	3,147,450	2,002,411	2,481,341	項目	H26末	H27末	H28			H29 目標
	当初予算	4,972,000	4,515,200	5,678,400				目標	成果	達成状況	
	補正予算	239,200	1,075,402		要配慮者利用施設 対策着手数	45施設	52施設	53施設	54施設	達成	55施設
	合計(A)	8,358,650	7,593,013	8,159,741							
	一般財源	642,443	156,382	301,043							
	Aの財源										
	県債	3,635,000	3,752,000	3,893,000							
	国庫支出金	4,081,207	3,684,631	3,965,698							
	その他	0	0	0							
決算額(B)	6,293,617	5,111,811									
概算職員数(人)	67.59	67.59	70.20								
概算人件費											
概算人件費(C)											
概算事業費(B(A)+C)	6,293,617	5,111,811	8,159,741								

目標に対する成果の状況	目標を上回る54施設の対策に着手し、土砂災害から要配慮者利用施設を守り対策を推進した。
-------------	---

## 2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施 早期に要配慮者利用施設の保全が図られるよう計画的な事業執行に努める。
--------------------	---